

# 鳥取県の林業と木質バイオマス

## 鳥取県の林業

都道府県	森林面積 (ha)	人工林面積 (ha)	国土面積 (ha)	森林率	人工林率
鳥取県	258,926	140,155	350,728	74%	54%

※林野庁都道府県別森林率・人工林率（平成24年3月31日現在）

鳥取県の特徴の1つとして自然が多く、森が広いということが挙げられるでしょう。鳥取県の面積の森林率は74%が森林で、全国平均の67%を上回り13位です。また、人工林率では12位で、人が森に入り生計を立ててきたことが分かります。

例えば、鳥取県智頭町の植樹は記録によると400年前にはすでに盛んに行われていたようです。これは歴史的にも鳥取県が林業と密接に関わってきたことを象徴しています。

しかし、便利で安価な化石燃料や外国産木材が多用されるようになり、全国的な林業衰退の流れは鳥取県も同様に押し寄せました。それでも、林業家の努力などで林業復興の努力は続けられてきました。智頭杉など、全国的にも質がいいと評価のある木材もあります。しかしながら、平成24年度の生産林業所得では11億円と、全国平均の44億円に遠く及ばないことから、鳥取県の特徴である森林を生かきせているとは言えません。

私たちの周りに眠る多くの「森林」という資源の更なる活用で、地域の活性化に繋げる必要があります。私たちが暮らしの中で森林資源を意識して使っていくことが重要になります。



大山

## 鳥取県の持続可能性と地域エネルギー 木質バイオマス

木質バイオマスを利用することは、単に低炭素社会を築くだけではない、いくつかのメリットがあります。

燃料として使う際には、地域にあることが第1のメリットと言えます。輸入に頼る化石エネルギーの代わりに利用すれば、域外へ流出している貨幣を地域へ還流させることにつながり、地元経済へ大きく寄与することが期待できます。

更に産業育成という視点で見ると、林業の活性化、木質バイオマスエネルギー供給などで、鳥取県らしい新規産業の育成にもつながります。若者が鳥取県内で就職できたり、移住者が増えたりするなどのメリットもあり、実際に林業による雇用創出の効果は年々増加しています。

地域エネルギーとしての木質バイオマスエネルギーを活用することにより低炭素社会実現へ踏み出すと共に、エネルギー自立を目指すことで地域を活性化させ、人口減少などの地域課題を克服し、持続可能な鳥取県へと転換していくことができるのではないのでしょうか。

鳥取県には、未活用の力が眠っています。薪ストーブやペレットストーブを使って地域の持続可能性に貢献しませんか？

